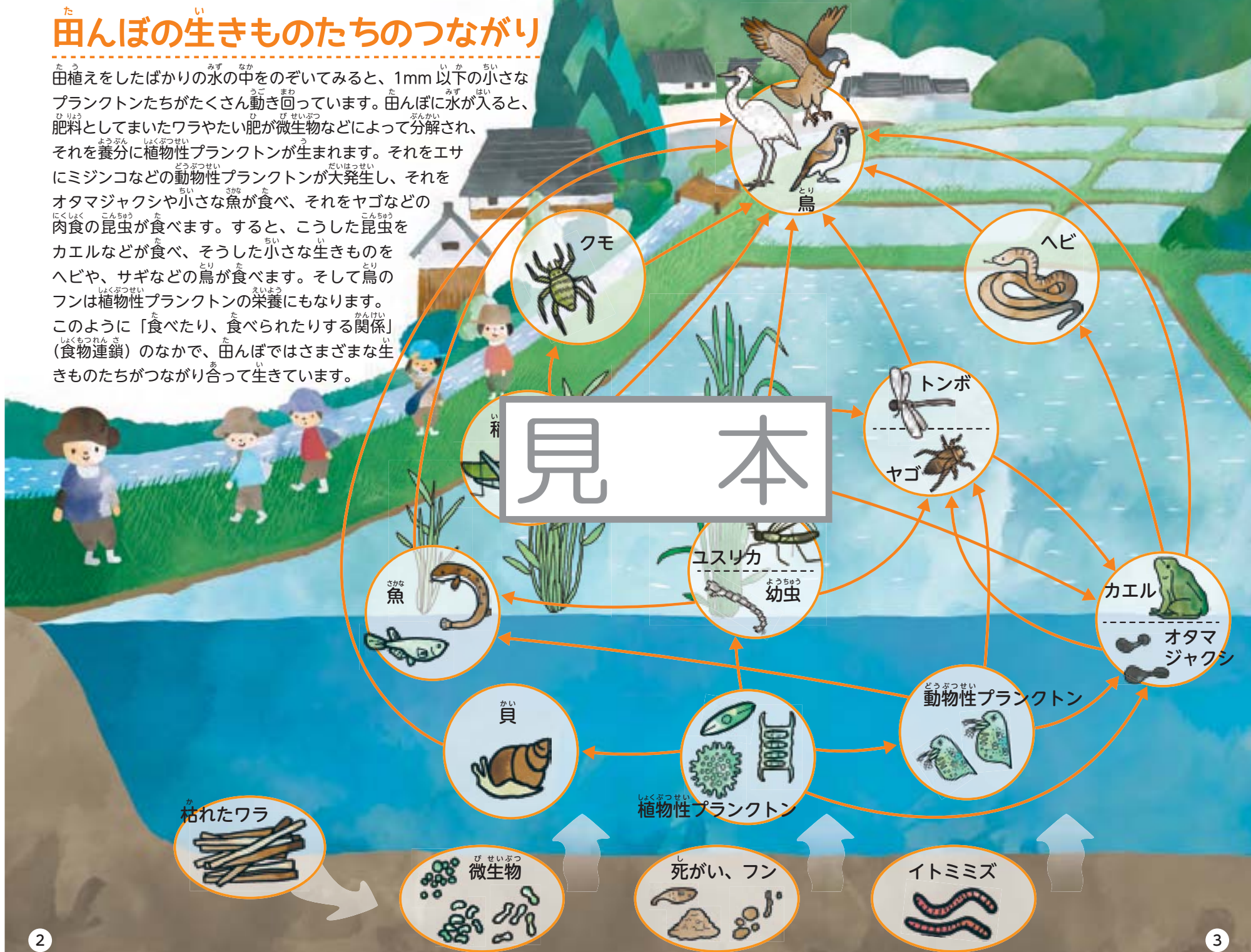


田んぼの生きものたちのつながり

田植えをしたばかりの水の中をのぞいてみると、1mm以下の小さなプランクトンたちがたくさん動き回っています。田んぼに水が入ると、肥料としてまいたワラやたい肥が微生物などによって分解され、それを養分に植物性プランクトンが生まれます。それをエサにミジンコなどの動物性プランクトンが大発生し、それをオタマジャクシや小さな魚が食べ、それをヤゴなどの肉食の昆虫が食べます。すると、こうした昆虫をカエルなどが食べ、そうした小さな生きものをヘビや、サギなどの鳥が食べます。そして鳥のフンは植物性プランクトンの栄養にもなります。このように「食べたり、食べられたりする関係」（食物連鎖）のなかで、田んぼではさまざまな生きものたちがつながり合っています。



はる た 春の田んぼ

はる
はじまりの春

見 本

● 田起こし

田んぼの土をほり起こし、表面の土と下の土を混ぜ返す。土をやわらかくして空気を入れる。このとき雑草も一緒に土の中に混ぜ込む。



● 籾まきと育苗

籾種といわれる稲の種を苗床にまいて発芽させて、稲の苗を田植えができる大きさになるまで育てる。



● 田植え

苗床で育てたお米の苗を田んぼに一定の間隔をあけて植える。田んぼの形や広さによって、人が手で植える場合と機械でたくさん植える場合がある。



● 代かき

田んぼに肥料をやってから水を入れ、水と土をかき混ぜながら表面を平らにならしていく。土がやわらかくなり、雑草も生えにくくなる。



● 畦ぬり

田んぼの水が畦から抜けないように、田んぼの土を水とこねて、壁のようにぬり固める。



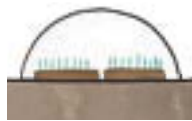
稲の成長

えんすいせん
塩水選



しずもみ
沈んだ籾を
たね
種に使う

なえ
苗づくり



なかほおん
ハウスの中で保温

たう
田植え

ひとかぶ
一株に植える本数は3~5本
が普通。1~2本でもOK

しろ
代かき

すいりょう
水量

ようすいけいせい
幼穂形成

いねほあか
稲の穂の赤ちゃん
ができる

なかほ
中干し

たみずおと
田んぼの水を落と
して土を固める

かい
開花



いねはな
稲の花が咲いて
じゆふん
受粉する

しゆっすい
出穂

いねほ
稲の穂が出る

いねか
稲刈り



だっこくもみ
脱穀・粳すり

ひこばえ

きかぶ
切り株から新しい
芽が伸びてくる

ひこばえの穂を
エサに渡り鳥が
やってくる

見本

米づくりカレンダー

これはおおまかなもので、ちいきによって作業の時期が違います。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
田んぼの様子	●雑草が育ち始める	●土が起こされる…… ●エサを求めて鳥が飛来する	●水が入る…… ●水生の生きものが田んぼに移動 ●稲が植わる…… ●稲が成長を始める	●田んぼの中や畦に草が茂る ●稲が成長する	●水がなくなる…… ●水生の生きものが水路などに移動する ●水が再び入る	●田んぼの中や畦に草が茂る ●水が再び入る	●開花 ●受粉が始まる	●稲の穂が穂先を下げ始める ●稲全体が黄金色になる	●稲刈り ●落穂を求めて鳥がやってくる	●ひこばえが成長する ●小さな穂が見られる	●渡り鳥がやってくる (地域による)	●田んぼに一面雪がつもる (地域による)	
米づくりの作業	●種籾の準備	●肥料やり(元肥) ●田起こし ●種をまく ●(育苗)	●代かき ●畦ぬり ●田植え	●(草取り) ●(水管理)	●中干し ●肥料やり(追肥) ●(病害虫を防ぐ)	●畦草を刈る		●田んぼの水を抜く(落水) ●稲刈り(9月~10月頃)	●はざがけ(乾燥) ●脱穀、乾燥、粳すり	●出荷	●耕起(秋起こし) ●水路の点検、補修 ●肥まき ●掃除		●農業機械の手入れ

た のうそん やくわり 田んぼや農村のいろいろな役割

わたしたちの祖先が苦勞して築きあげ、大切に守ってきた田んぼ。田んぼや農村の役割は、わたしたちの大事な主食となるお米を作るだけではありません。たとえば、雨水を一時的にためて洪水や土砂くずれなどの自然災害を防いだり、夏の暑さをやわらげたり、たくさんの生きものを育てています。また、地元のお祭りなどの農業と深く結びついた伝統文化を守ったり、農村の原風景は人の心を和ませます。田んぼや農村はいろいろな役割でわたしたちの暮らしを支えているのです。

こうずい ふせ
洪水を防ぐ

どしゃ ふせ
土砂くずれを防ぐ

ち かすい
地下水を

見 本

ぶん か
文化を
つた
伝える

た
食べもの
をつく
を作る

こころ からだ
心と体を
げんき
元気にする

うつく ふうけい
美しい風景
たも
を保つ

い
生きもの
はぐく
を育む

なつ き おん
夏の気温
さ
を下げる

年 月 日 () 天気:

観察場所:

今日の田んぼはどんな感じ?

形や色・においなど、田んぼの様子を書きとめておこう!

知らないことあった?

農家の人や先生に教えてもらったことを書きとめておこう!

見 本

これ何だろう? なぜだろう?

気になったことや気がついたこと、調べたいことを書きとめておこう!

新しい発見があった?

今日いちばん印象に残ったことを書きとめておこう!

年 月 日 () 天気:

観察場所:

見 本

はる かんさつ 春の観察

田んぼはお米が育つ大切な場所。そして、たくさんの生きものたちでにぎわう「生きもののお楽しみ園」。春はそんな生きものたちがいっせいに動き出す季節。田んぼの畦をゆっくり歩いてみよう。きっとたくさんの生きものたちに出会えるよ。



ヒバリ



サギ



ドジョウ



見 本



アカガエル



サンショウウオ



ヒキガエル



レンゲ



メダカ



カエルの卵



ゲンゴロウ



ヤゴ

⚠ さわる時は気をつけて！

●ニホンアマガエル
皮から毒成分が出ていて、さわった手で目や口をこすると炎症を起こすよ。ヒキガエルも目の後ろにある耳腺から毒を出すよ。さわった後は必ず手を洗おう。



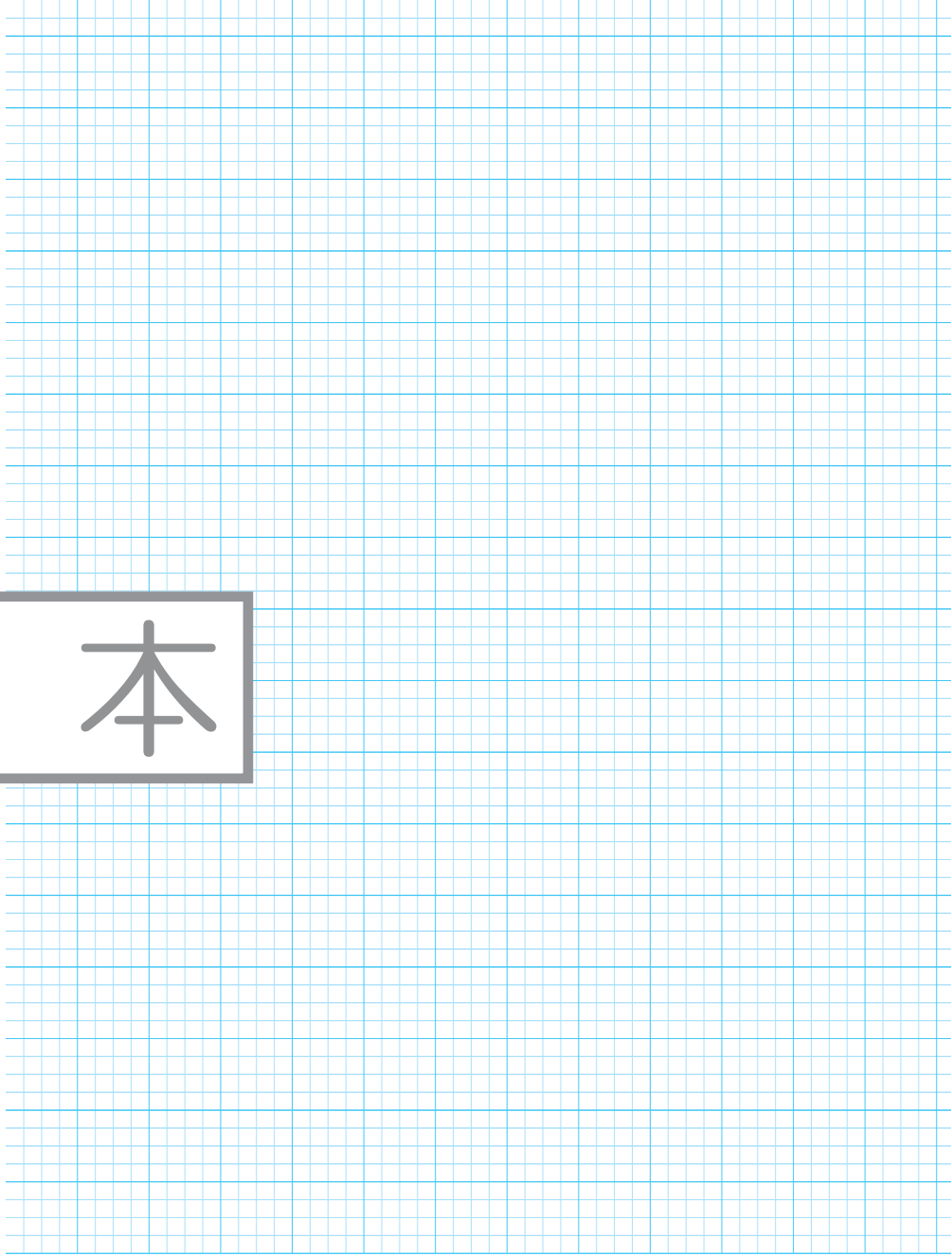
●マツモムシ
マツモムシなどのカメムシの仲間には針のような口で刺すことがあるよ。素手でさわるときは気をつけよう。



年	月	日 ()	天気:
観察場所:			

生きもののなまえ	大きさ	かず	形や色などの特徴

見 本



年 月 日 () 天気:

観察場所:

見 本